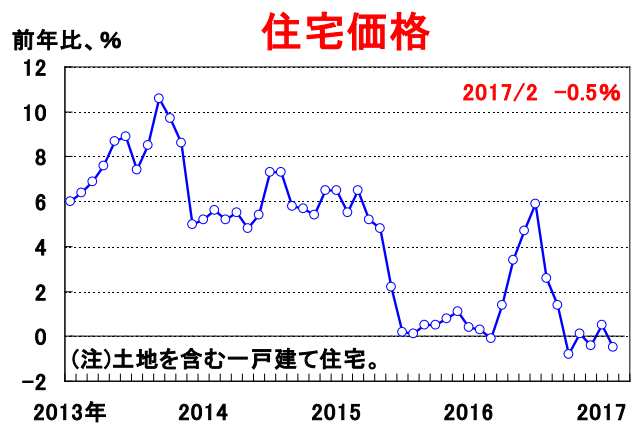
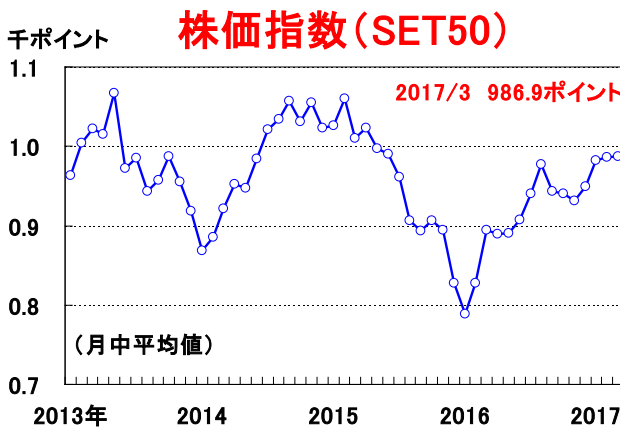
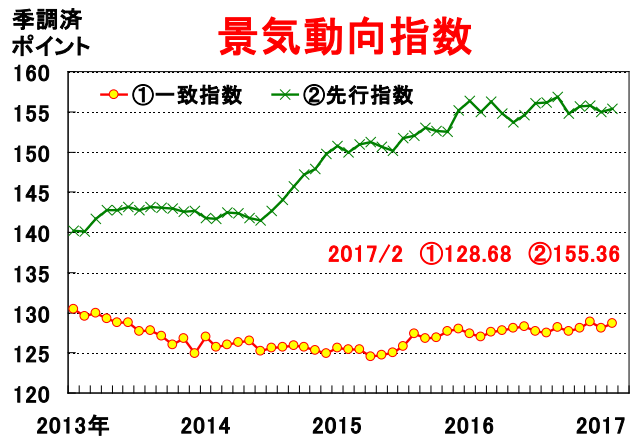
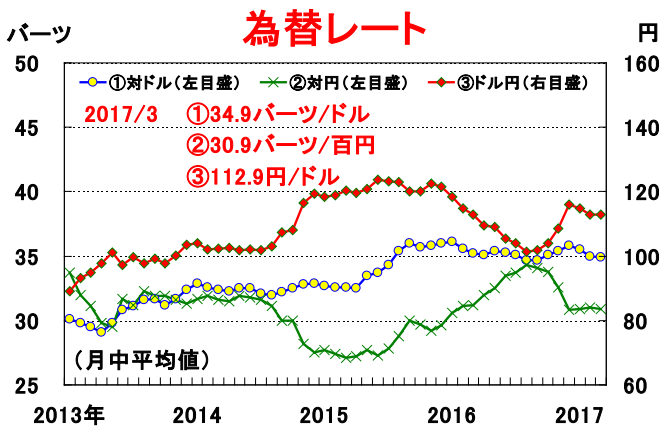
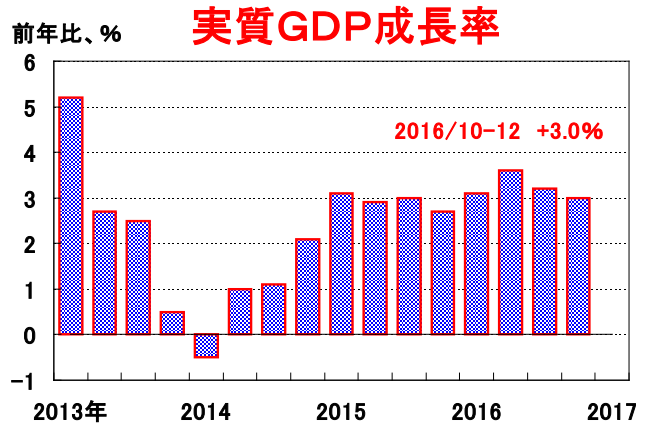
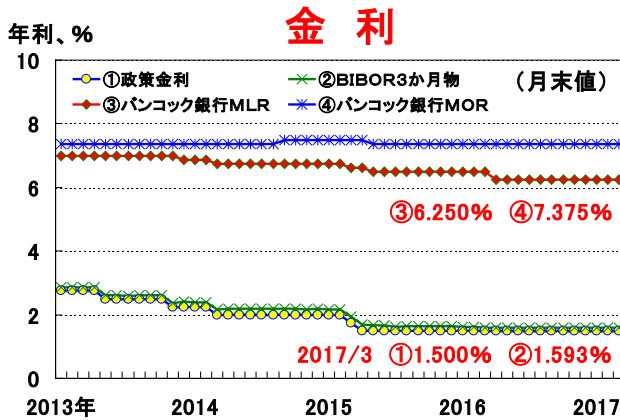


グラフで見るタイ経済 2017年4月号(No. 94)

タイ景気は、家計部門には回復の動きもみられるが、総じて弱含みが続いている。2月の個人消費指数は前月比+1.4%と、耐久財消費の増加などにより、再び上昇した。しかしながら、同月の輸出は前年比-2.8%と4か月ぶりに減少した。地域別には、中国向けが高い伸びで推移したものの、日本向けはマイナスに転じ、米国向けも増勢を弱めた。2月の工業生産指数(前月比-0.2%)は落ち込み、また主力産業の自動車の生産台数(前年比-7.2%)も減少した。同月の民間投資指数は前月比-0.1%と、わずかながら2か月連続で下落している。



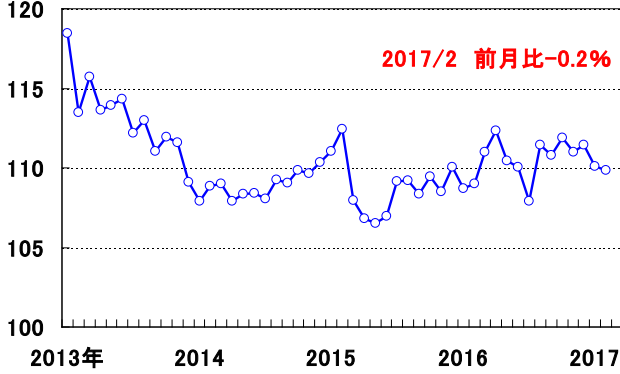
【今月のトピック:開通が遅延するタイ、カンボジア間の国際鉄道】 タイの首都バンコクとカンボジアの首都プノンペンを結ぶ国際鉄道の開通が遅延している。当初、2017年の初頭に鉄道は開通する予定であった。しかしながら、カンボジア国内で鉄道の経路地となるポイペトの沿線住民への補償問題が鉄道建設の障害となっている。鉄道建設にかかわる両国政府の関係者は、2017年の夏に鉄道が開通するよう努力している模様である。鉄道の開通後は、物流コストの低下によりタイ、カンボジア間の貿易が拡大し、投資活動や観光にも好影響が及ぶことが期待されている。

(出所) タイ中央銀行、タイ国家経済社会開発委員会 (NESDB)、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。

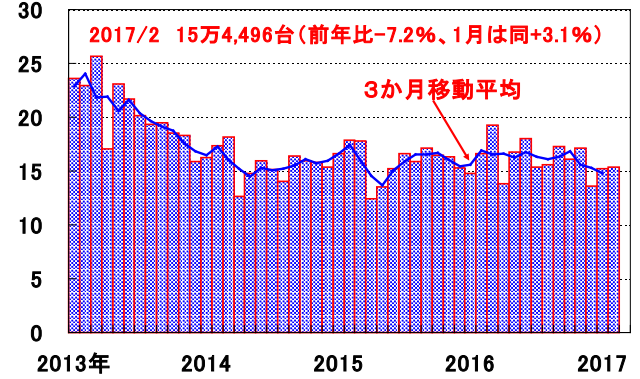
季調済
2000年=100

工業生産指数

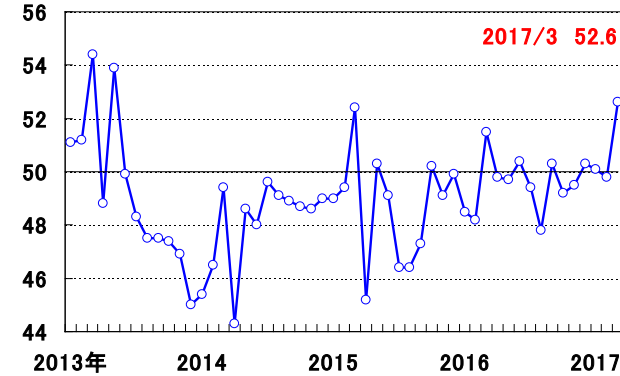


万台

自動車生産台数

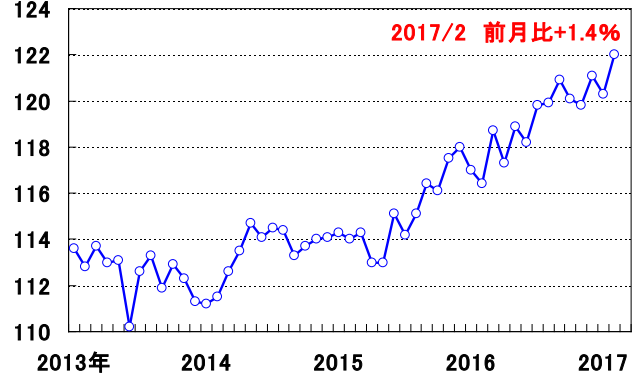


中立水準=50 企業景況指数(BSI)



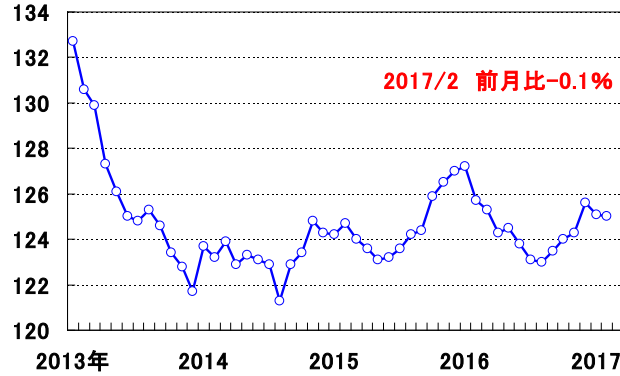
季調済
2000年=100

個人消費指数

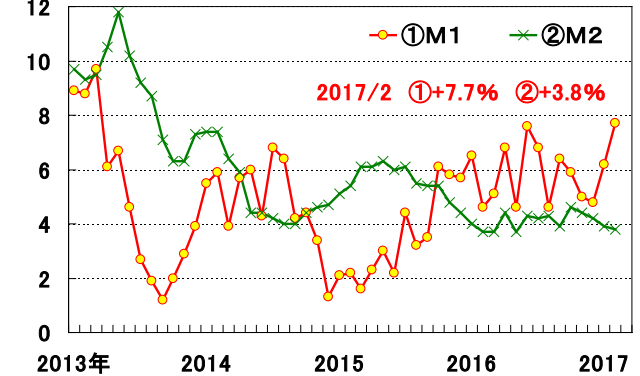


季調済
2010年=100

民間投資指数

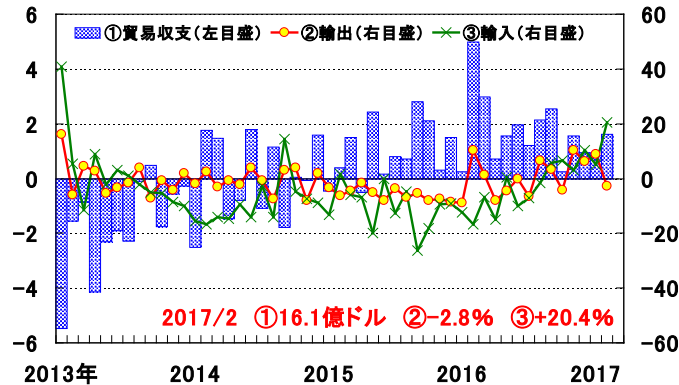


前年比、% マネーサプライ

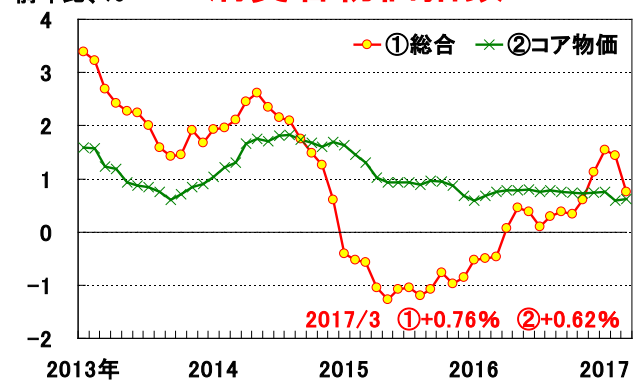


10億ドル

貿易収支



前年比、% 消費者物価指数



(出所) タイ工業省、タイ中央銀行、タイ国家統計局、タイ工業連盟 (FTI)

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。